



◀遊休農地の解消は、農業振興には欠かせない重要な課題です

安全・安心なまちづくりのための都市基盤整備事業もスタートします
(写真は改良が望まれる大縄堀踏切) ▶



基本目標第3 「共に支えあつやさいいまちづくり」

少子高齢化時代における子育て支援および福祉事務所設置による対応、さらには市民の健康を守るため疾病の早期発見早期治療に取り組みます。予算は、1億296万4千円としました。

入院にかかる医療費の助成や、妊婦検診における公費負担制度の拡充を図るとともに、第3子以降の3歳未満児にかかる保育料の軽減等に取り組みます。

さらに、地域福祉の拠点として旧本宮病院跡地に健康増進、他世代交流、子育て支援の機能を有する複合施設を整備します。平成19年度から3カ年事業で実施を予定しています。

このほか、子育ての支援として、引き続き保育所、幼稚園に健やか相談室を開設します。また、多様化する保育需要により積極的に対応するため、障がい児の受け入れ、保育時間の延長、一時的な保育の受け入れなど、児童・障がい児の福祉の向上に取り組みます。

基本目標第4 「活力あるふるさとのもちづくり」

農業を取り巻く情勢が厳しさを増す中、生産基盤の一層の充実や生産技術・経営の高度化、担い手の育成・確保、生産・加工・販売体制の整備

などを進めていきます。また、遊休農地の解消や地域の産業創出事業としての農村振興総合整備事業および県事業の経営体の育成基盤整備事業とし

て区画整理事業に取り組みます。予算は、596万8千円となります。

また、市街地整備や駅周辺整備等と連動した、にぎわいのある商店街の再生整備や新規優良企業の立地促進、新産業の中核を担う商工業の振興および新産業の開発に努めます。

基本目標第5 「安全安心な環境のまちづくり」

新市基本計画における基本計画事業、さらには交通安全・防犯対策ならびに子どもの安全・安心に対する取り組みを行うものであり、予算は、7億6,307万4千円としました。

道路整備事業の市道堀切・赤坂線道路改良事業については、名郷橋の老朽化に伴う事業として平成18年度から平成22年度までの5カ年計画で実施

します。平成19年度は用地取得と取付道路の改良などに着手します。

また、あだたらドリームライン整備事業の大山・松沢線道路改良事業は、平成19年度から平成23年度までの5カ年計画で実施するもので、平成19年度は用地取得と物件補償を行う予定です。橋梁整備事業の菅田橋については、老朽

橋梁架け替え事業として平成14年度から平成24年度までの11カ年計画で、二本松市との共同事業として実施するもので、平成19年度は橋梁下部工と橋脚工を実施するものです。

安全・安心なまちづくりについては、子どもの交通安全や防犯対策として、地域安全パトロールを前年度に引き続き実施いたします。

このほか、新市基本計画において構想事業とされていますが、都市基盤整備事業として5カ年間で整備する、まちづくり交付金事業に取り組みでいくとともに、阿武隈川本築堤の整備促進および上ノ橋架け替え事業の推進に取り組みしていきます。

◆お問い合わせ先
財政課財政係(☎内線212)